桃太郎伝説を巡る旅へ！

今も岡山の各地には桃太郎伝説にまつわる遺跡や神社などがたくさんあります。伝説ゆかりの地を巡ると、いにしえの岡山を舞台にした壮大な物語を感じることができます。桃太郎伝説の真実をぜひ、あなたの目で確かめてみてください！

さあ、伝説の舞台を一望しよう！

1 鬼城山（鬼ノ城）
きのじょうざん（きのじょう）

伝説の中で、温羅（うら）と呼ばれた鬼が住んでいたとされる山です。ここにはかつて巨大な古代山城「鬼ノ城」がありました。現在は、門や角楼などが復元されています。

PHOTO SPOT

3 吉備津彦神社
きびつひこじんじゃ

大吉備津彦命を祀る神社です。備前国の一宮として建立されあつく信仰されてきました。また、境内には温羅を祀る温羅神社もあります。

コチラが、温羅神社！

きびだんご

岡山を代表する銘菓です。桃太郎が鬼退治の際に犬・猿・雉に与えたきびだんごがモチーフとなっており、江戸時代には吉備津神社の門前で売られていました。

岡山の桃
おかやまのもも

古くから鬼は桃を恐れると言われています。これは、鬼を退治する桃太郎にも関わっていることが想像されます。気候風土に恵まれ、桃の産地として有名な岡山で桃太郎伝説は育まれてきました。

吉備津神社 2
きびつじんじゃ

鬼を退治した大吉備津彦命を祀る神社です。本殿、拝殿は国宝に指定されています。境内には、矢置岩や御釜殿など桃太郎伝説ゆかりの文化遺産が残されています。

PHOTO SPOT

6月頃にはあじさいが咲き誇る！

チャームポイントは八重歯です。

吉備津神社の鬼面
きびつじんじゃのおにめん

吉備津神社に伝わる鬼の面です。16世紀頃に作られたと言われています。

吉備津神社御釜殿
きびつじんじゃおかまでん

吉備津彦命に退治され、切り落とされた温羅の首が釜の下に埋まっていると伝えられています。

鳴釜神事
なるかまじんじ

御釜殿で執り行われる神事です。釜を鳴らし、その音で吉凶を占います。釜の下には温羅の首が埋まっていると言われています。

桃太郎伝説で訪れたいスポット

落矢注意！

4 鬼の釜
おにのかま

温羅が生け贄を茹でた釜

伝説の中で、温羅が生け贄となった人々を茹でる際に使っていたとされる釜です。しかし実際には鎌倉時代の僧重源が人々のために作った湯釜だと考えられています。

5 矢喰宮
やくいのみや

矢がぶつかり落ちた場所！

戦いの中で、吉備津彦命と温羅の射た矢が空中でぶつかり落ちた場所に祀られているのが矢喰宮です。境内には温羅が投げたと伝えられる巨石があります。

6 血吸川
ちすいがわ

温羅の血が流れて赤に染まった川！

鬼城山から流れ出る川です。伝説では吉備津彦命の射った矢で、傷を負った温羅の血が流れて真っ赤になったと言われています。

7 鯉喰神社
こいくいじんじゃ

温羅を退治した場所！

伝説では吉備津彦命は鵜に変身し、鯉に化けて逃げる温羅を捕まえて退治しました。その捕えた場所に祀られているのが鯉喰神社です。

8 白山神社の首塚
はくさんじんじゃのくびづか

温羅の首をさらした場所！

白山神社の境内に、末社の「米神」と呼ばれる高さ約1.5mの塚があります。伝説では、温羅との戦いに勝利した吉備津彦命が温羅の首をはね、串にさしてさらしたとされる場所です。

PHOTO SPOT

橋築遺跡 9
たてつきいせき

弥生時代の墳丘墓で、その大きさは全国最大級です。伝説においては、頂上にある巨石は、温羅と戦った際に吉備津彦命が楯として築いたものとされています。

楯築神社の旋帯文石
たてつきじんじゃのせんたいもんせき

楯築遺跡の上にある楯築神社、その御神体が旋帯文石です。石に刻まれた帯状の文様は弥生時代の優れた彫刻技術を物語っています。また、伝説の中で吉備津彦命が空飛ぶ乗り物として使っていたとも言われています。

桃太郎伝説の背景にある吉備の勢力

古代、日本列島の各地には大きな力を持った人物がおり、その強大さは現代でも古墳や遺跡として感じることができます。古代吉備国もその一つで、それを物語る巨大な古墳や遺跡が残されています。当時、彼らが他の勢力と争ったことが、吉備津彦命と温羅の戦いとして伝説になったのではないかと言われています。

両宮山古墳 10
りょうぐうざんこふん

吉備で造山古墳、作山古墳に次ぐ規模の前方後円墳です。また、古備地方では唯一水を湛える周濠が残っている古墳です。

PHOTO SPOT

3月下旬頃には一面が桃の花でピンク色に染まる！

両宮山古墳より車で約5分（赤磐市穂前地区）

造山古墳 11
つくりやまこふん

5世紀初頭では全国最大規模の約350mの前方後円墳です。このような巨大な古墳を造ることができる強大な勢力が吉備に存在していたことを示しています。周辺からは朝鮮半島と関連する遺物が出土しています。

陪塚の千足古墳では石室の見学が可能！

PHOTO SPOT

箭田大塚古墳 12
やたおおつかこふん

吉備三大巨石墳の一つである円墳です。吉備津彦命の弟の子孫とされる下道氏の墓と考えられています。

吉備津彦命の弟の子孫が眠る！

昔の人は大きな石を運ぶのが大変だっただろうな…

牟佐大塚古墳 13
むさおおつかこふん

吉備三大巨石墳の一つである円墳です。吉備津彦命の子孫とされる上道氏の墓と考えられています。

こうもり塚古墳 14
こうもりづかこふん

吉備三大巨石墳の一つである前方後円墳です。横穴式石室は全長約19.9mもあり、吉備では最も大きい石室です。

作山古墳 15
つくりやまこふん

5世紀中頃に造られた全国第10位の大きさの前方後円墳です。全長約282mの大きさで鬼ノ城からも見下ろすことができます。

浦間茶臼山古墳 16
うらまちゃうすやまこふん

3世紀中頃に造られた吉備最古の大形前方後円墳で、卑弥呼の墓といわれる箸墓古墳（奈良県）の2分の1相似形墳です。